

## 7. 木質バイオマス利活用の実態 (19) 20230608

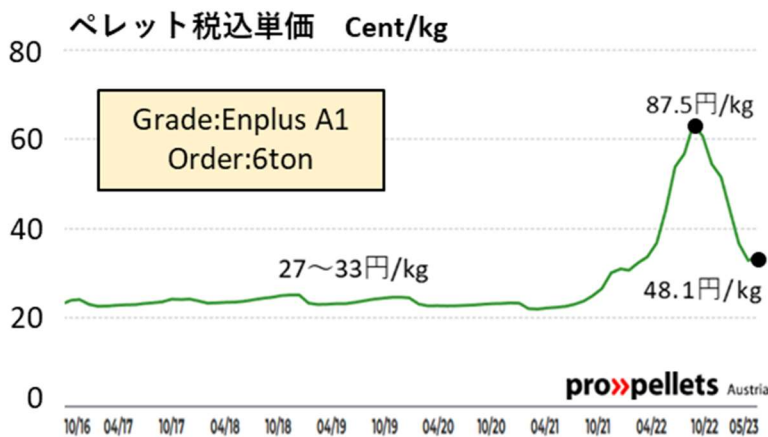
### オーストリアでのペレット燃料の優位性

図表 7.22 はオーストリアにおける 2016 年 10 月から先月 (2023/05) までの家庭用ペレット価格の推移である<sup>1)</sup>。グレード一級のペレットを 6t 購入する場合の単価を示している。7 (11) で述べたようにオーストリアでのペレットボイラ設置数は家庭が事業所より断然多く、それを設置する家庭の年間ペレット消費量は 6 t 程度と見積もられている。

ペレット単価は、平時には 22~25cent/kg (約 30 円/kg) で変動が少なく、長年にわたって安定していた。しかし 2022 年のロシアによるウクライナ侵攻に伴う化石燃料の高騰は、灯油 heating oil からより安価なペレットへの転換を促進した。その結果、ペレットの納期の遅れや供給不足に陥り価格の急騰を招き<sup>2)</sup>、10 月には平時の約 3 倍 (63.4cent/kg) にも上昇した。その後ペレット需給も徐々に改善され、先月の 5 月 1 日現在 33.66€/kg (48.1 円/kg) にまで下落した。

オーストラリアの家庭ではセントラルヒーティングが一般的で、熱配管は完備しているためオイルボイラからバイオマスボイラへの変更は比較的容易である。事実、ペレットボイラの年間新設数が 5,000 基程度であったものが 2022 年次には倍以上の 12,000 基まで急増し、2022 年末時点での設置数は 184,000 基に達したといわれている<sup>2)</sup>。2018 年の 129,500 基より 3 年間で実に 54,500 基の増となっている。このような家庭用ボイラ設置数の増加には、2020 年 5 月に決定された EU のグリーンリカバリー政策により家庭用ボイラの導入に対する補助率が大幅アップされ、しかも補助金の受け手が個人であるといった情報<sup>3)</sup>もあり、これが大きく影響していると思われる。さらにこういった危機を避ける手立てとして現在オーストリアでは石油備蓄と同様にペレット備蓄の必要性も叫ばれている<sup>2)</sup>。

なお数日前 (2023/05/29) のオーストリアの heating oil の価格は 1.079€/L (154.3 円/L) で、わが国の灯油 (110.7 円/L) や重油 (97.7 円/L) に比べてかなり割高である。わが国の石油高騰に対する政策 (石油価格への補助金) と異なり、お国の事情による対比が目される。



図表 7.22 オーストリアでの家庭用ペレット価格の推移<sup>1)</sup>

1) <https://www.propellets.at/en/wood-pellet-prices>

2) <https://www.timber-online.net/energy/2023/01/stockpile-of-130-000-tons-of-pellets.html>

3) On Site Report no.532, (2022.10)